

全長 985mm
銃身長 500mm
重量 3.3kg
口径 12ゲージ
装弾数 6+1発
操作 ポンプアクション
紙火薬量 6-8粒



特徴

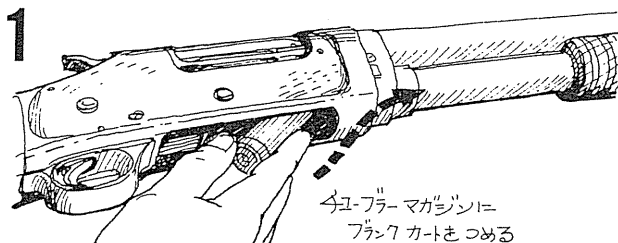
MGCのM-97ショットガンは、実物のM-97のもつ、手の込んだ機械加工から表現される外観の機能美。そして、同時代の有名銃独特の独想的な内部機構。これらの特長を、可能な限りに追求してモデルアップされた本格派ショットガンである。

独特のキャリアフレームの動き、そしてボルトとアクションバーを連動させるスライドホックや、撃発前のみアクションをロックさせる、アクション

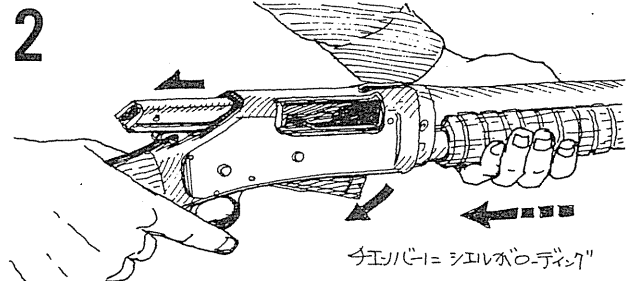
バーロック機構等、すべて実物と同じ操作を可能にするメカニズムとなっている。

また、このM-97は、外観と操作や基本のメカは実物と同じでありながら、チャンバー外発火方式を採用して、モデルガンとしての安全性を守るというMGCのセーフティーモデルガンの主張も貫かれている。

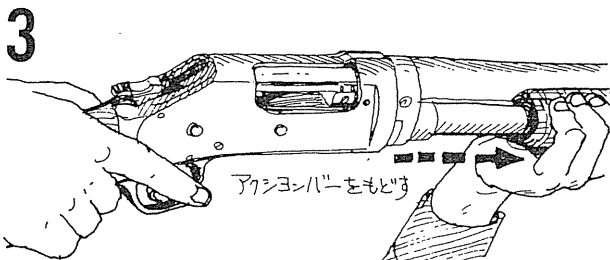
操作



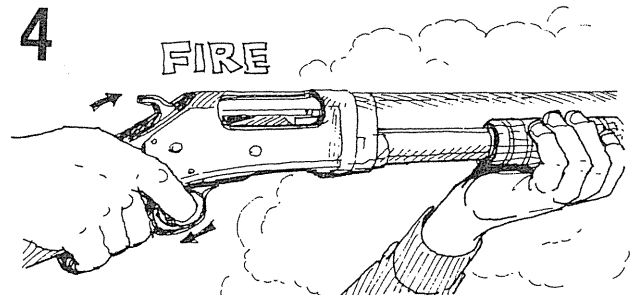
シェルケースをメインフレームの下側から前方のマガジンの方へ押し入れるようにして、6発装填する。



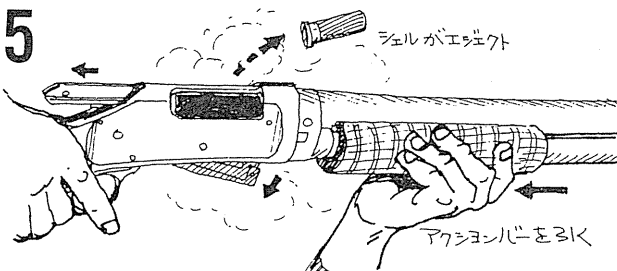
フォアグリップを引くとボルトが動き、キャリアフレームが下がってシェルケースは1発だけキャリアの上に送り出される。
③フォアグリップは、後ろまでいっぱいには後退させる事。



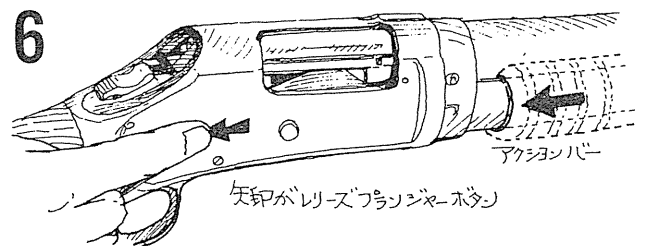
フォアグリップを前進させると、キャリアが上がり、ボルトが閉じ、シェルケースが1発送り込まれる、これでフォアグリップはロックされる。



ハンマーはボルトの運動で起きているのであとはトリッガーを引くだけで撃発が出来る。撃発後、ハンマーは閉じている。ハンマーによって、フォアグリップのロックが解かれる。

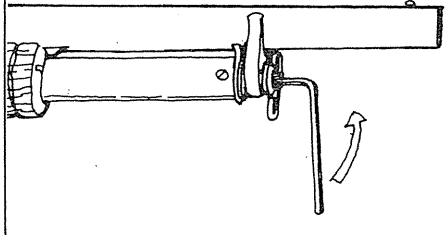


ロックの外れたフォアグリップは、再び退けられる。その時、撃発済みのシェルケースは右側にエジェクトされ、新しいケースが送り込まれる。また、トリッガーを引いたままでフォアグリップを前後させると、作動が連続的に繰り返され、全弾を連発する事が出来る。

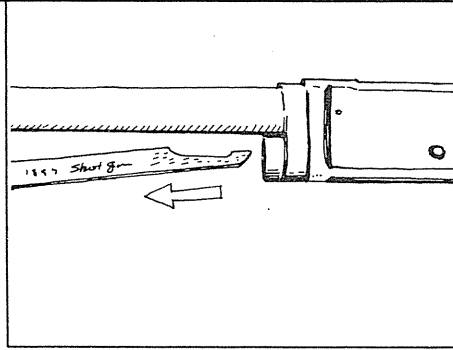


ハンマーが起きている時(又はハーフコック)は、アクションバーロックが働いているので、アクションバーは前後に動かない。不発薬莖を抜くためにボルトを動かす時は、リリースブランチャーボタンを押す。このボタンを押している間は、ハンマーにセフティがかかり、アクションバーロックが外れているので、フォアグリップを動かして暴発する事なく安全に排出出来る。

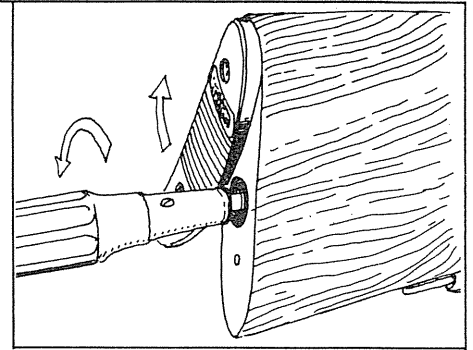
分解



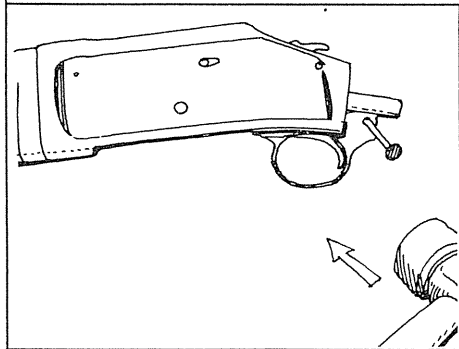
- 1 3ミリ六角レンチでマガジントューブスクロウを矢印の方向に廻して、フロントスワイベルを外す。マガジンバンドも取り外して下さい。



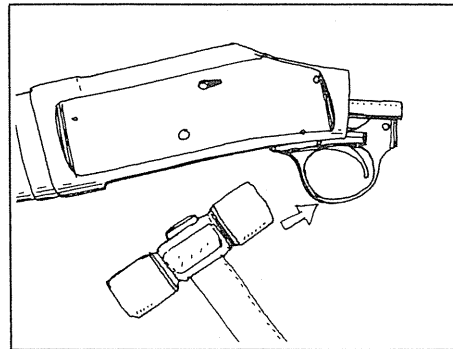
- 2 マガジントューブとアクションバーを、そのまま前方に引き抜きます。(バレルは分解出来ません。)



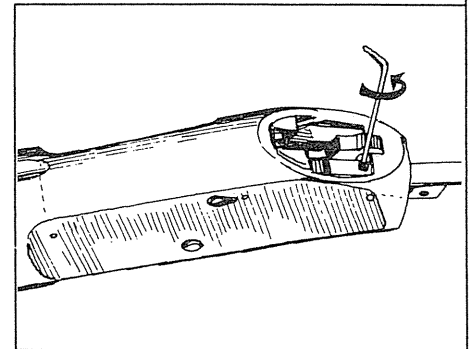
- 3 バットプレートのネジを片方外し、図のようにずらして、ストックスクロウを廻す。バットストックは後に引き抜く。



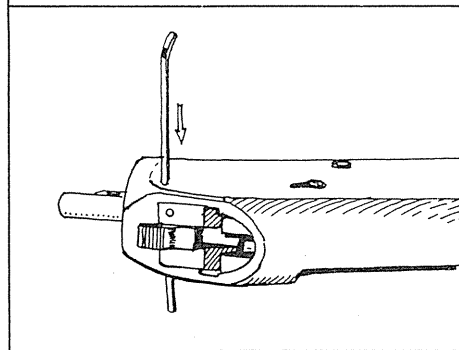
- 4 トリガーフレームストッパーピンを4ミリピンポンチで抜き、メインフレームとの結合を解く。



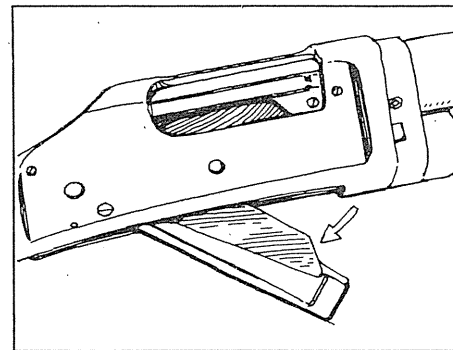
- 5 トリガーフレームを後方へ抜き取る。かたい時は図のようにプラスチックハンマー等で叩いて下さい。



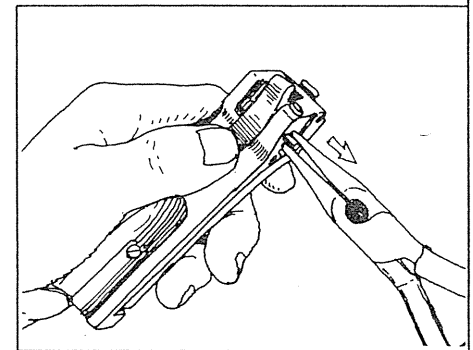
- 6 1.5ミリレンチを矢印の方向に廻しストッパースクロウをゆるめる。



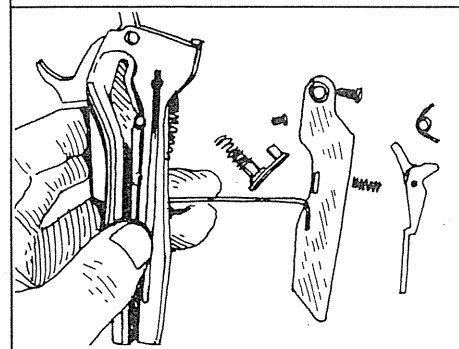
- 7 キャリアーピンを抜き取る。かたい時は図のようにピンポンチ等を押込んで取る。



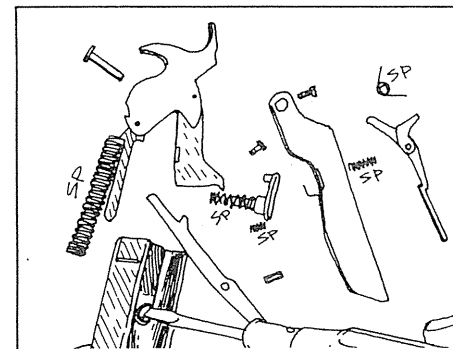
- 8 キャリアーフレームを図のように下げながら取りだす。キャリアーフレームには、ボールとスプリングが入っているので、飛び出さないよう十分注意して下さい。



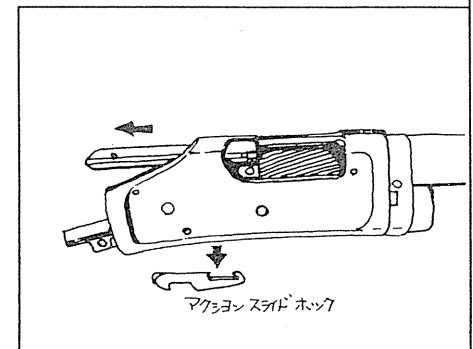
- 9 シアーピンをピンポンチ等で少し押し出し、ラジオペンチで夾んで抜き取る。



- 10 各部分のビス・ピン・ストップスクロウをはずすと、すべてのパーツが分解出来ます。小さなスプリングが入っていますので、なくさないよう注意して下さい。

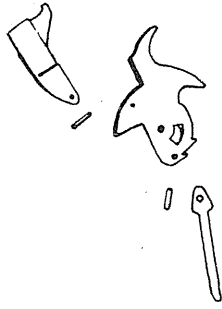


- 11 シェルガイドのスクロウも外します。

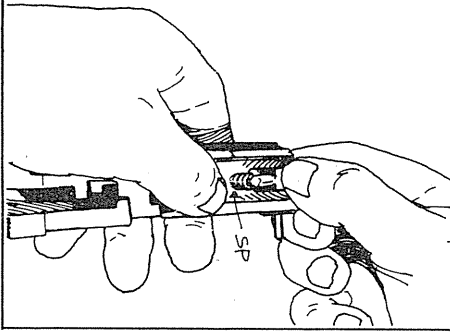


- 12 ブリーチボルトに引っかけてあるアクションスライドロックをはずし、ブリーチボルトを後から抜き取る。

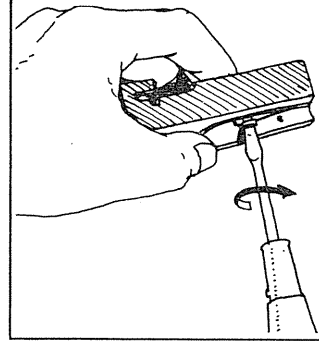
組立



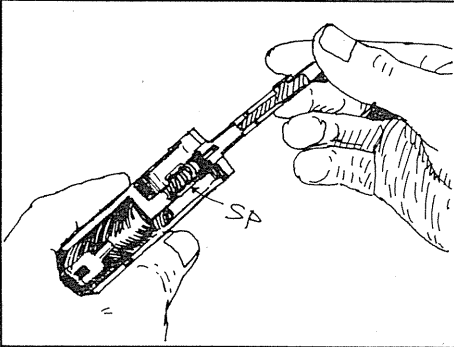
1 ハンマーにハンマーストラットとハンマーピンスを取付ける。



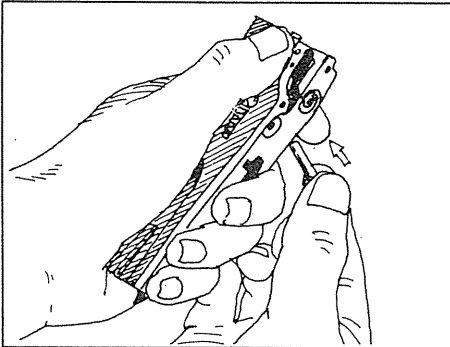
2 キャリアピースを取付ける。 キャリアピースを指で押して見て、スムーズに動くようにすること。



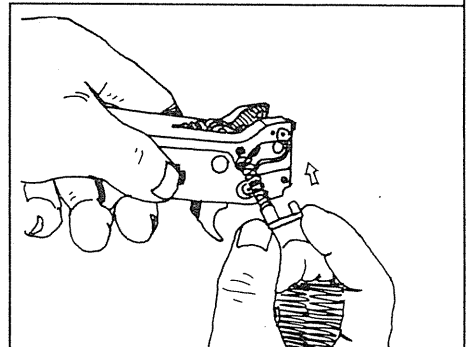
3 シェルストッパーの先をキャリアピンに引っかけ、 $\phi 3 \times 8$ ミリ丸皿ビスで止める。



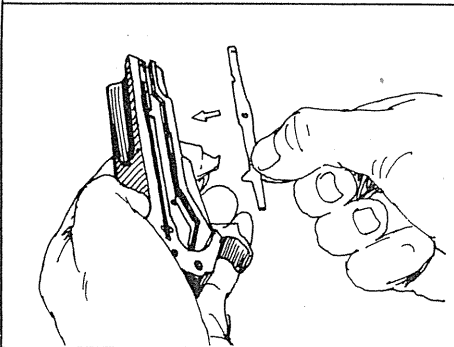
4 キャリアフレーム下の孔にメインスプリングを半分位入れる。 ハンマーストラットをメインスプリングに入れながら、ハンマーをキャリアフレームに入れる。



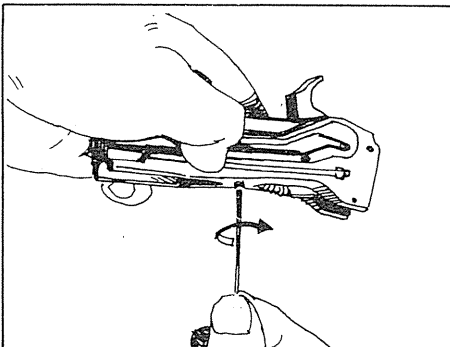
5 ハンマーを押し込み、キャリアフレームと孔を合せる。 ハンマーピンを入れて止める。



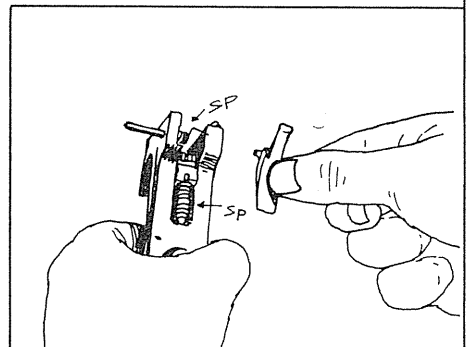
6 レリースブランジャーにスプリングを通し、孔にスプリングが、かまないように注意しながらキャリアフレームに入れる。 $\phi 3 \times 4$ ミリ平ビスにワッシャーを通して止める。 指で押してスムーズに動くようにすること。



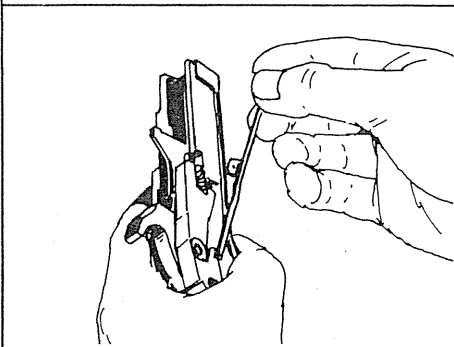
7 アクションバーロックを付ける。 キャリアフレームのミゾ前方の丸い孔にスプリングを入れ、アクションバーで押える。



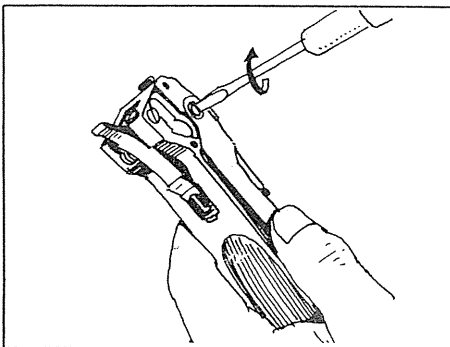
8 アクションバーを右手で押える様にして、ホーローセットスクリューで止める。 止めた後スムーズに動くことを確認しておく。



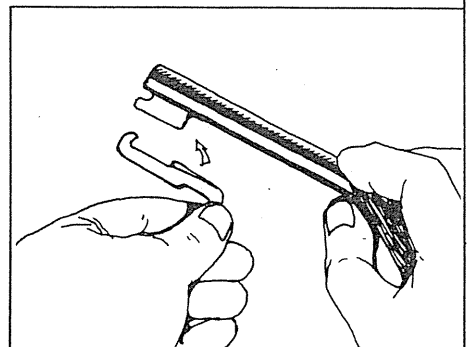
9 シアーピンをキャリアフレームに $1/2$ 位入れて、シアースプリングを入れる。 スプリングの先をシアーにかけて、シアーを上から押え、シアーピンを完全に通す。



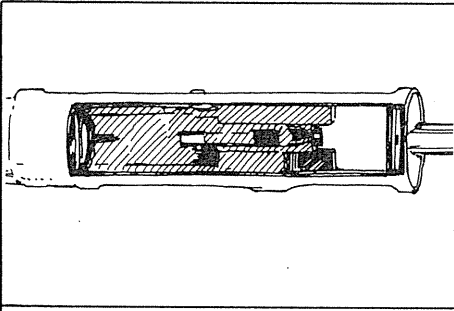
10 キャリアフレームのミゾにスプリングを入れ、シェルガイドにスプリングをかけながら入れる。



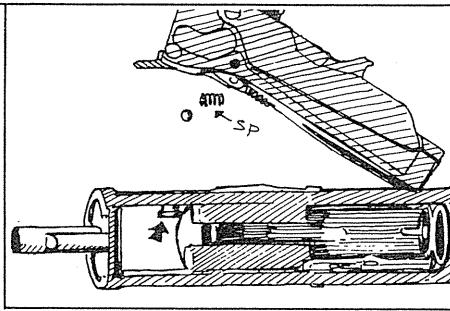
11 $\phi 3 \times 4$ ミリ平ビスにワッシャーを通して止める。



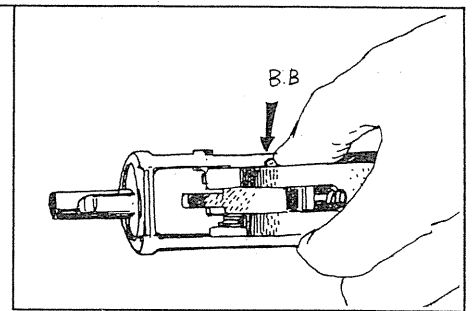
12 ハンマー止を組込んだボルトを、メインフレームに入れ、アクションスライドホックを引っかける。



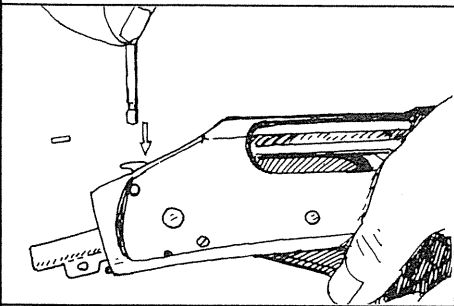
13 ●メインフレームに入った状態
アクションスライドホックはボルトの先の方
からかけて下さい。



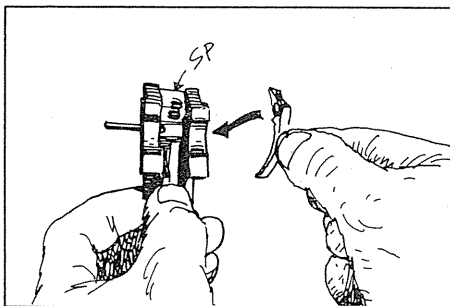
14 メインフレームにリリースブランチヤーを入
れておく。 キャリアフレームの後の孔にボ
ールとスプリングを入れる。



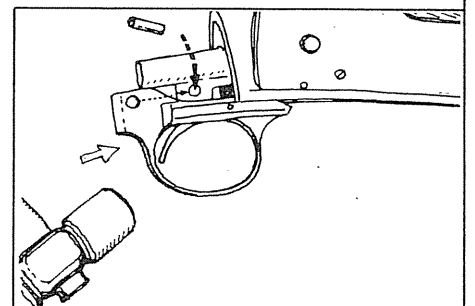
15 ボールが飛ばないように指で押え、この図のよ
うにメインフレームに入れる。ハンマーは
起した状態に



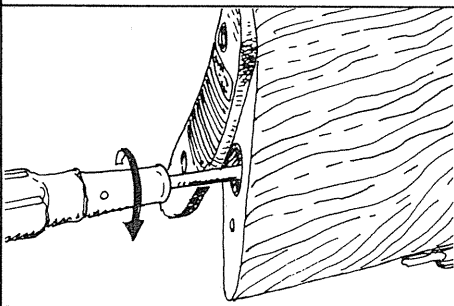
16 キャリアフレームと孔を合せキャリアーピン
を入れる。 ミゾに入った部分を左にして上
からストップスクリューで止める。



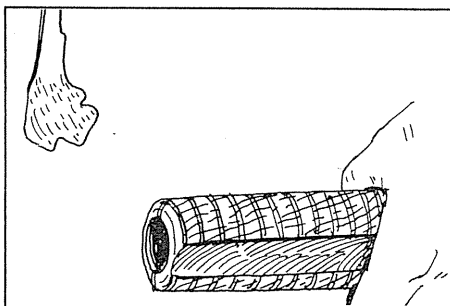
17 トリガーガードの孔にスプリングを入れ、ト
リガーを図のように上から入れピンで止める。



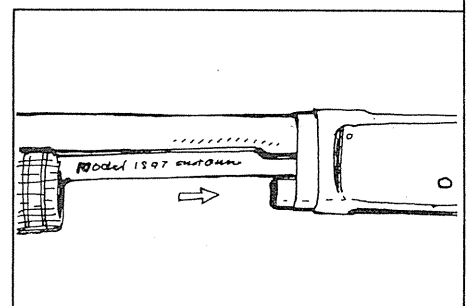
18 トリガーフレームをメインフレームのミゾに
合せ後から入れ、孔を合せてピンで止める。
ハンマーとトリガーの動きを確めておく。



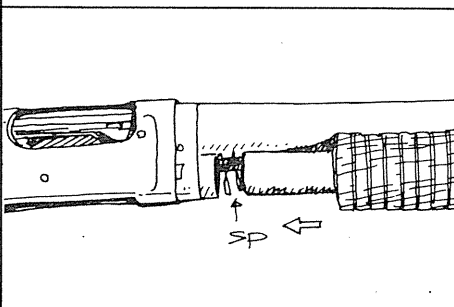
19 ストックを合せストックスクリューで止める。
パットプレートも固定する。



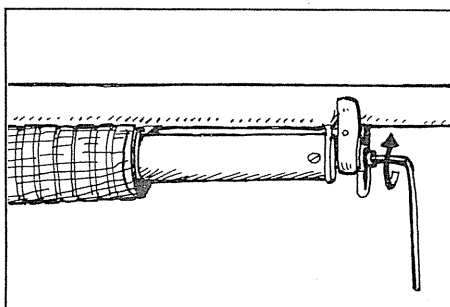
20 アクションバー・フォワードグリップ・ラバ
ーリンク・フォワードエンドチューブをセッ
トし専用組立レンチで締める。 各部分のミ
ズは必ず合わせる。



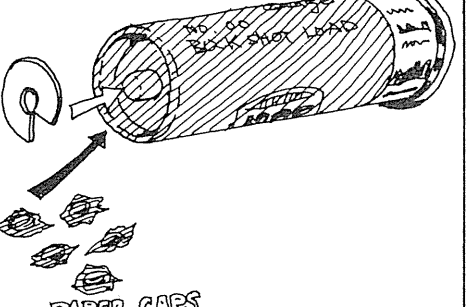
21 組終ったアクションバーをメインフレームに
止まるところ迄さし込む。



22 メインフレームにマガジンフォロアーを入れ、
マガジンスプリングとマガジントューブを上
から入れる。



23 マガジンバンドを固定する。 フロントス
ウィベルとスウィベルカラーを取付け、スクリ
ューで止める。



24 ●火薬の詰め方
シェルケースの中心軸のまわりに紙火薬をつ
め、火薬がこぼれないようにポリワッシャー
(10枚50円)で押える。